

3年 佐藤優成さん ボランティアセンター

・山陽新聞
・2026年3月20日(金)
・第51264号
(©山陽新聞社)

25 備中 2026年(令和8年)3月20日 金曜日

「困窮世帯へ食品を」

順正学園 ボランティアセンター 総社3カ所で収集

順正学園ボランティア。一缶詰一つでも温かい気持ち伝わる」は、家庭や企業で余った食品を県内の子育て中の困窮世帯などに届ける「フードドライブ」を行うため、総社市内3カ所で食品の寄付を受け付けている。

受付窓口は、総社市役所▽天満屋ハピータウンリブ総社店(門田)▽マルナカ総社店(総社)で、それぞれ収集ボックスを設置。食品はコメや乾麺をはじめ、賞味期限が1カ月以上ある未開封のインスタントやレトルト食品、お菓子、粉ミルクなどを募る。

総社市との協定に基づく恒例のキャンペーン。学園によると、2024年度の同市内の寄付量は418キロで、23年度の1492キロを下回った。ボランティアセンターに登録し、協力を呼びかけている吉備国際大2年佐藤優成さん(20)は「物価高に苦しむ困窮者が増えている。善意をぜひ寄せ」と話す。

順正学園は年間を通じて高梁市内を中心にフードドライブを展開。県内と、学園の系列校がある宮崎県内の15歳以下の子どもがいる計100〜130世帯に毎月宅配している。(小畑誠)



収集ボックスの前で食品提供を呼びかける学生＝総社市役所

倉敷本社 086-422-9434
 児島支局 086-473-3400
 笠岡支社 0865-63-4101
 総社支局 0866-92-0254
 高梁支局 0866-22-2155
 新見支局